令和6年度 福井市の認定こども園、保育所等における質の向上のためのアクションプログラム vol. 3
No.604 桑こども園

カテゴリー		園での取り組み (具体的なアクション内容・それを実現するための具体的な方法・手段)	年度末達成度 (◎・○・△・×)	備考
I 子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1) 園児の学びを見取り、ねらいをもって環境を整えていく。	(1) ◎	ねらいは何かということを明確に持つことを大事にし、職員間での話し合いと実践を行うことができた。
		(2) 自己評価や保護者アンケートを実施し、結果を考察し改善していく。	(2) ◎	
		(3) 年2回、保育カウンセラーの訪問を受け、気になる子への関わり方や支援方法を学ぶ。	(3) ◎	カウンセラーとの会議に積極的に参加し、気になる子へのかかわり方について学び、実践することができた。
		(4) 園児の健康状態の把握、危険個所の点検と改善を行う。	(4) ◎	
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5) 研修に参加した後は伝達する機会を設け、学びを共有し園全体の質の向上に努める。	(5) ○	
		(6) 園長研修会後は情報を周知徹底し、共通理解を図る。	(6) ◎	園長会報告を行い、情報の共有をするとともに、疑問点があればその場で解決できるようにした。
		(7) 幼児教育支援センターや他機関主催の研修に積極的に参加する。	(7) ◎	職員配置や受講日を調整し、なるべく多くの職員が受けられるようにした。特にオンライン研修は積極的に参加できた。
II 子育てライフを支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8) 懇談や連絡帳、キッズビュー等で、園児の姿や育ちを共有すると共に、育児相談や助言を行う。	(8) ◎	各クラス最低週1回の配信を目標にし、になることもあり、子供の様子や育ちを保護者と共有することができた。
		(9) 感染症発生状況及び対応に関する情報提供を行い、保健衛生上の連携を図る。	(9) ◎	玄関に感染症の発生状況を掲示したり、受診する保護者には口頭で園内の感染状況を伝えたりすることで、注意喚起した。
	地域子育て家庭への支援の充実を図ります	(10) 園開放を実施し、遊びの場の提供や育児相談を実施する。	(10) ◎	
		(11) 一時預かりの受け入れを実施する。	(11) ×	一時預かりの希望者がおらず実施しなかった。
		(12) 育児相談や支援についての知識を身につけ、育児相談を積極的に行う。	(12) ○	
III 多様な連携と協働を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を発揮します	(13) こども家庭センターや福井市の支援事業実施関係機関に情報を提供し、連携していく。	(13) ◎	保護者に支援機関の紹介をし、つながりを持つことで、子どもの支援が良い方向に向かった。
		(14) 民生児童委員や主任児童委員と情報を共有し連携していく。	(14) ◎	
		(15) 園小接続会議に参加し、情報交換を行う。	(15) ◎	
		(16) 園だよりを小中学校や公民館に配布し、情報発信を行う。	(16) ◎	
	地域の教育・保育機能を強化します	(17) 公民館で開催する行事に積極的に参加する。	(17) ◎	
IV 子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(18) 地域の中学生や学校教諭の保育体験を受け入れる。	(18) ◎	中学生の保育体験だけでなく、小学生との交流も計画し、実践することができた。
		(19) 地区の公民館や行政と連携し、途中入園の受け入れや園開放等の子育て支援の情報発信を行う。	(19) ◎	
	子育て文化につながる活動を広げます	(20) 福井県内、福井市内の子育てサークルなどの情報の提供をしていく。	(20) ○	
		(21) 地域主催の行事参加で地域の人々とふれあい、交流を図ると共に地域の人々に園の活動を発信する。	(21) ◎	夏祭りでは、踊りや太鼓の披露をした。また、保護者会からの出店も行い、子供も保護者も地域交流を図ることができた。
V 安心して子どもを生み育てる支援づくりを進めます	子ども・子育て関連3法に基づくこれからの乳幼児の教育・保育について研究を進めます	(22) 認定こども園の教育・保育内容や連絡事項など情報を発信し、理解を求め、説明責任を果たす。	(22) ◎	
		(23) 園内研修での取り組みや、成果と課題を発表する。	(23) ◎	
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(24) アクションプログラムに基づいた活動計画案を作成し、実施する。	(24) ◎	アクションプログラムの研修を受け、職員間で共有・理解し活動の実施に努めた。

《園での取り組み》 24のアクションから、取り組む内容(番号)と具体的な取り組みを記載する。

《達成度》 ◎：当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○：計画どおりに取り組み、概ね目標を達成することができた。 △：不足する部分や問題があった。 ×：目標を達成することができなかった。

《備考》 達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。